

悪

電話による悪質商法を防止する方法

普段、何げなく使っている電話ですが、ちょっとした工夫次第で悪質商法を遠ざけることができます。

①【留守番電話】

在宅時でも常に留守番電話を設定。電話がかかってきても、電話をとらない。

・犯人は声が留守番電話に録音されるのを嫌い、電話を切ります。

・連絡が必要な相手には、控えている電話番号にかけなおせば問題ありません。

②【ナンバーディスプレイ】

相手の電話番号が確認できる電話機を設置し^{*}、知らない番号には出ない。

・普段電話する相手の番号をあらかじめ登録しておきましょう。

※電話機の設定以外に工事が発生する場合があります。

③【非通知電話拒否設定】

悪質業者の多くは、電話番号を非通知でかけてきます。

非通知は全て着信を拒否する設定にしておけば、電話がかかってくることはありません。



弁護士、警察官、銀行員
などになりすましたニセ
者(犯人)が、次々に電話
をかけてきます。手口に
ご注意ください。

犯人グループの使うキーワード

「現金を送れ」

「受け取りに行く」

「逮捕される」

「振り込め」

「必ず儲かる」

「レターパック」

「裁判になる」

「損害賠償」

「誰にも言うな」

「家族に迷惑がかかる」

「警察沙汰になる」



撃退！悪質商法

悪質業者は

う・そ・つ・き

高齢者は要注意!

悪質商法に関する相談は、後を絶たず、特に高齢者を狙った事案が増えています。高齢者が持つ3つの大きな不安「お金」「健康」「孤独」。悪質業者は、言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切そうに接して信用させ、お金をだまし取ります。

う まい話を信用しない!

うまい話、絶対もうかる話には、必ず大きな落とし穴があります。要注意! なかでも、電話や自宅訪問による勧誘(商品・工事など)に関する相談が多数を占めています。

そ うだんする!

決してひとりで判断せず、家族や知人、相談機関に相談を。

つ いていドアを開けない!

知らない人が訪問してきたら、ドアを開けるときは慎重に。

き っぱり!

はっきり断る! あいまいな返事はせず、不要なものは、断ることが大事です。



高齢者を被害者にならないよう、周囲の人が見守りを

悪質業者は、見守りのある高齢者宅の訪問を嫌がります。

親族や地域の人々が、高齢者を一人にしないことで、被害の未然防止や早期発見に繋がります。

①見慣れない人や怪しい人が何回も出入りしている場合

訪問販売の勧誘を受けている可能性があります。「誰が来てるの」など、高齢者への声掛けをお願いします。

②家に見慣れないダンボール箱や新しい商品、契約書類などがある場合

まとまった量の健康食品などを、次々に購入させられている可能性があります。「こんなに使っているの」など、優しく聞いてみてください。

あくまで、一例ですが、
日ごろから気にかけて、
見守ってください。